

1. 講習概要

(1) 対面講習(集合学習)

①【対面:教育現場に活かす「レクリエーション」の体験学習】

●履修単位:12 時間

●募集定員:各会場 60 名(申込先着順)

●内容

レクリエーション活動は単に楽しいだけでなく、意図的・計画的に活用することで、教師と子どもたち、子ども同士のコミュニケーションを深め、良い関係を築くことができます。

そして、子どもたちが集団における様々なレクリエーション活動に自主的、実践的に取り組むことで、互いの良さや可能性に気づき、良好な集団へと導くことができます。

本講習では、学校・幼稚園の様々な場面で活用できる多様なレクリエーション活動の体験を通し、教育現場で活かすためのレクリエーション支援の理論と手法を学びます。

②【対面:遊びが運動になる、運動が遊びになるレクリエーション活動の体験学習】

●履修単位:6 時間

●募集定員:各会場 60 名(申込先着順)

●内容

外遊びや集団で体を動かして遊ぶことは、社会性の基礎や知性を身に付けられるほか、成功体験を積み重ねることによって意欲が引き出され、体力や運動能力の向上に大きな効果をもたらします。

本講習は、運動する子とそうでない子の二極化が指摘される中、運動が苦手な子も体を動かす楽しさが味わえる運動遊びや、仲間と協力しながら課題に挑戦する集団遊びなど、“遊びが運動になる、運動が遊びになるレクリエーション活動”を体験し、体育の授業や外遊びなどでの活用方法を学びます。

(2) 通信講習(インターネット学習)

①【通信:「レクリエーション」の教育的効果】

●履修単位:12 時間

●募集定員:300 名(申込先着順)

●講習内容

レクリエーション活動は単に楽しいだけでなく、意図的・計画的に活用することで、コミュニケーションを深めながら、教師と子どもたちとの信頼関係を築くことができます。

また、子どもたち同士の良好な人間関係を築きながら、自主的、実践的な態度を育てることができます。

本講習では、教育現場におけるレクリエーション活用の意義や効果について、実践動画や体験(演習)を交えながら確認し、すぐに活かせるレクリエーション支援の理論と手法を学びます。

②【通信:遊びが運動になるレクリエーション活動】

●履修時間:6 時間

●募集定員:300 名(申込先着順)

●内容

外遊びや集団で体を動かして遊ぶことは、社会性の基礎や知性を身に付けられるほか、成功体験を積み重ねることによって意欲が引き出され、体力や運動能力の向上に大きな効果をもたらします。

本講習は、子ども体力の現状を踏まえ、運動が苦手な子も体を動かす楽しさが味わえる運動遊びや、仲間と協力しながら課題に挑戦する集団遊びなど、“遊びが運動になる、運動が遊びになるレクリエーション活動”の実践事例をもとに、その活用方法を学びます。

II. 対面講習の開催地

・千葉県千葉市

※会場および日程等は講習会詳細をご参照ください。

Ⅲ.通信講習について

●受講方法

インターネットで指定するサイトにログインし、テキストと所定の動画教材を視聴しながら学習します。

- 全ての動画教材を視聴したのち、郵送される試験を自宅で取り組み、郵送にて提出します。
- 動画教材は1回60分(演習課題に取り組む時間を含む)とし、講習により回数が異なります。
- 使用する機器は、パソコン、タブレット、スマートフォンのいずれも可能です。
※パソコンはカメラ付きである必要はありません。
- その他、受講案内メール及びテキスト教材等を郵送する事務連絡にて、インターネットによる動画教材の視聴方法の詳細をお知らせします。

●受講期間

令和3年8月1日(日)～11月30日(火)

Ⅳ.募集受付期間

(1)対面講習(集合学習)

令和3年2月16日(火)～6月30日(水)

(2)通信講習(インターネット学習)

令和3年2月16日(火)～10月31日(日)